

夢ある未来のために 造園力の結集を！！



全国の技術情報共有のための
造園技術フォーラム



美しい街路景観を支える
街路樹剪定研修

全国造園デザインコンクール

日本造園建設業協会 共催：(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会 全国高等学校造園部会 国土交通省 国土緑化推進機構 国土緑化推進機構 (公社)日本造園



若年者育成のための
全国造園デザインコンクール



植栽の良好な生育のために
植栽基盤診断研修



造園をもっと知ってもらおう
全国造園フェスティバル



造園事業の拡大につながる
発注機関等への要望・提言活動

魅力ある日造協へようこそ

(一社)日本造園建設業協会
会長 和田新也



(一社)日本造園建設業協会(日造協)は、昭和46年(1971)4月の建設業法改正により「造園工事業」が土木工事業から独立した業種として位置づけられたのを契機に、同年11月4日に設立しました。

造園業界の先人達が、全国的な組織の設立を目指して一致団結し、造園建設業の発展を図り、造園技術の向上を通じて都市緑化の推進等に寄与するため、多くの努力を積み重ねて作り上げてきたのが日造協なのです。

それから50年余が経過し、造園の事業領域も庭園や建築空間から公園、道路、自然地域に至る公共空間までを対象として大きく拡がり、造園建設業が社会的に広く認知されるまでになりました。

造園建設業の確たる未来を築くためには、これまで長年にわたり私たちが育み培ってきた造園力(ゆるぎない技術力・洗練された文化力・豊かな創造力)に更なる研鑽を重ね、磨きをかけ、その発揮の場の拡大に力を注ぎ、時代を先取りし国民の要望に的確に応え、人と自然が共生する持続可能なしなやかで安全・安心な社会を形成し、次世代に継承する社会的使命を果たすことが重要となります。

また、様々な機会を捉えて緑豊かな美しい空間・景観を創造することこそが、造園建設業の活動領域と規模を大きく広げていくと確信しており、造園力を社会に広くアピールする啓発活動の展開や、海外との技術交流を通じて活動領域の拡大を目指すことも重要といえましょう。

今後とも会員が一致団結し、造園建設業の着実な発展と社会的使命を果たすとともに、新たな仲間を迎えて魅力ある産業として前進しつづけることが大切であると考えています。

多くのみなさまの日造協活動へのご参加を心よりお待ちしております。

造園業界の将来を担う 若手経営者の皆様へ

(一社)日本造園建設業協会
造園領域発展戦略委員会
会員拡大プロジェクト推進部会長 四宮 繁



私たち日造協は、魅力ある協会活動の充実を図り、次世代の交流を促進し広く協会を知って頂くため、平成27年秋より「会員拡大プロジェクト」をスタートさせ、全国各地で説明会や交流会を実施しました。

十数年以上にわたる公共事業の減少、価格競争、技術・技能の高齢化、若年者入職者の減少、技術・技能の蓄積・継承の困難等、私たちの業界も課題を抱えています。日造協としては、課題に対応できるような、独自の資格制度、団体保険、人材育成教育、女性や若手の活躍推進、講演会など、時代にあった事業を行っております。

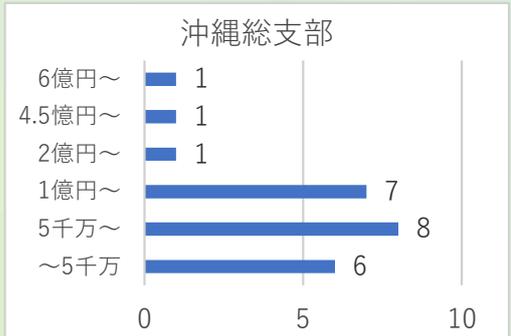
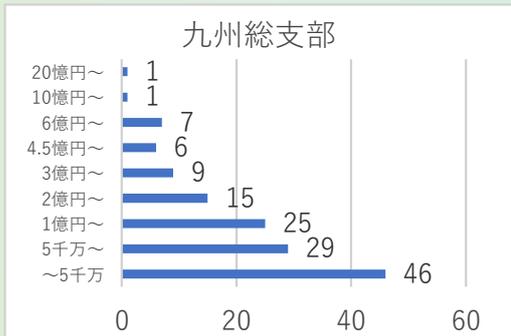
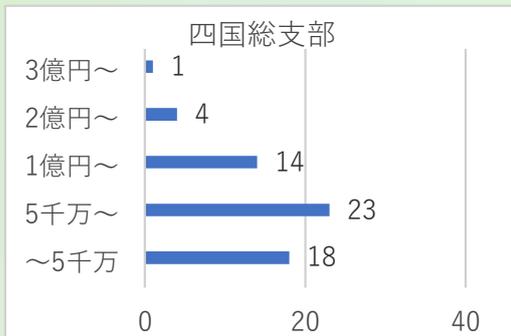
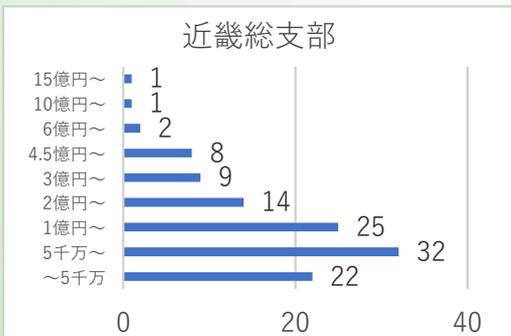
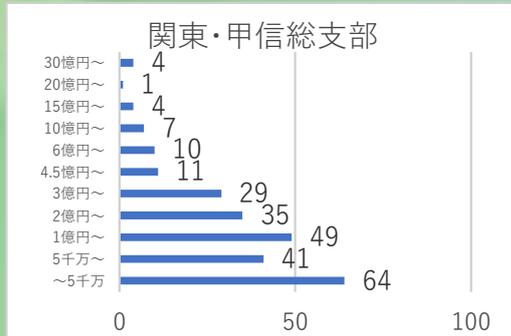
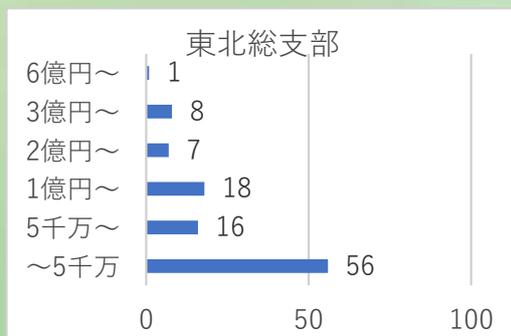
また、日造協は全国組織で、ネットワークがしやすい組織であり、仲間との出会いが広がり、協会活動を通じて経営者としての資質向上と自社の発展、緑を通じた社会貢献を果たせます。

多くのチャンスがありますので、ぜひ日造協活動に参加し、魅力ある造園建設業界になるように未来を切り開いてみませんか。心よりお待ちしております。

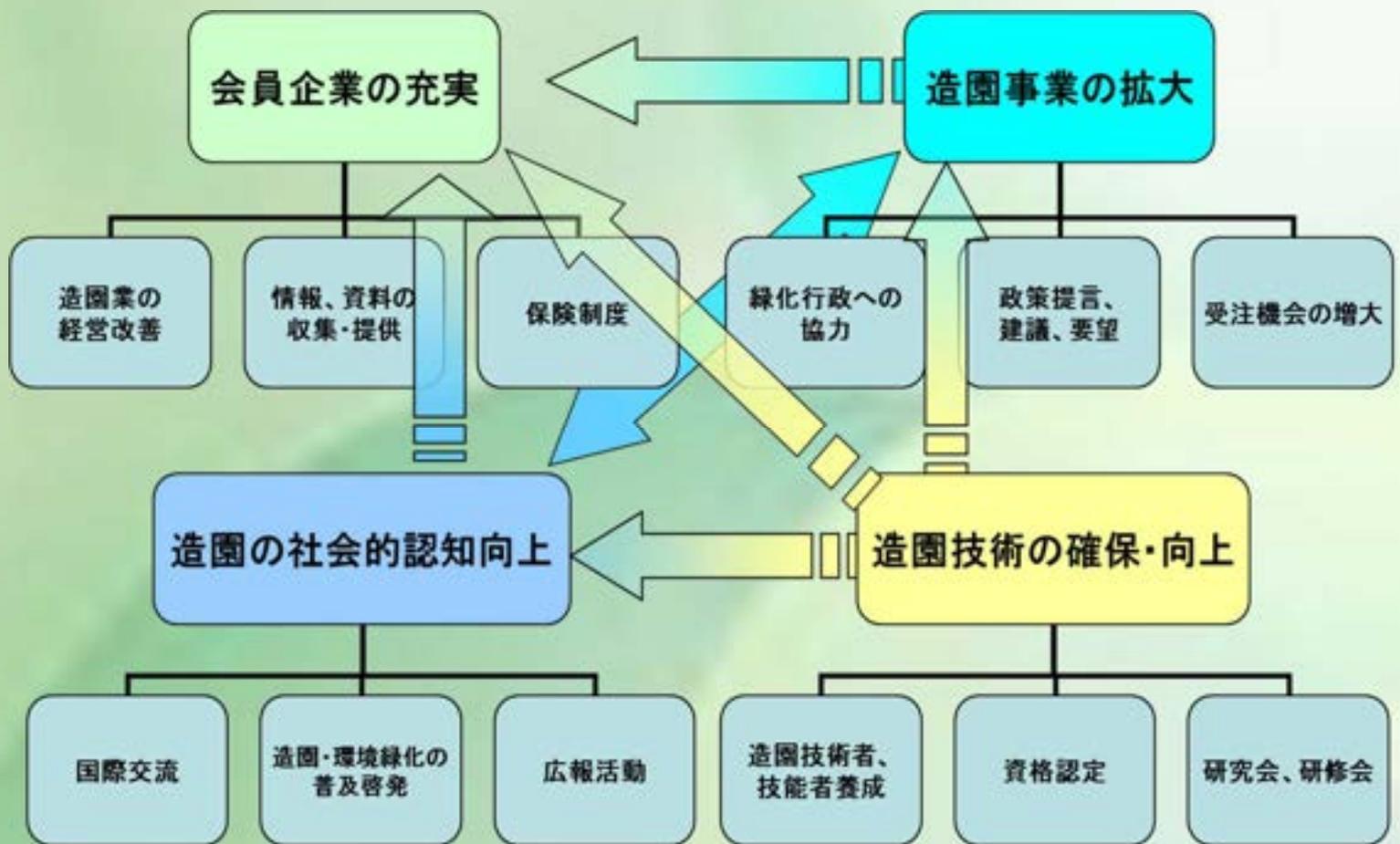
日造協の会員構成(完工高)

2022年現在

経営方針や企業規模もさまざまで、幅広い層の会員が所属しています。



日造協の果たす役割



労働環境の改善・生産性向上・働き方改革・女性活躍推進

- ✓ 個々の企業では解決できない課題・問題点の解決
- ✓ 造園業の事業領域の拡大
- ✓ 造園にとって有意義な制度の創設、運用の促進
- ✓ 造園工事の安全施工確保
- ✓ 会員支援
- ✓ 造園施工業界、産業界の代弁者として多方面に向けた様々な情報の発信
- ✓ 学・官との連携協力による発言力の強化

会員になると

全国ネットワーク
の活用

- ・地域単位の組織では得られない多くの出会いや情報
- ・個々の企業では対応できない課題・問題の解決

有益な情報

- ・日造協ニュース(毎月発行の機関紙)
- ・日造協メール(毎月2回程度配信)
- ・研修会の開催や法改正の最新情報



安全管理・技術力
の確保と向上

- ・研修会:職長教育、人材育成研修会、各種特別教育
- ・資格制度:街路樹剪定士、植栽基盤診断士
登録造園基幹技能者、公園・緑地樹木管理士

経営者、後継者、
社員の育成

- ・次代を担う若手経営者・後継者の会「地域リーダーズ」活動
- ・若年者の入職促進
- ・職場における女性の活躍推進
- ・全国・地域間・他業種との交流を図り、同志を作る

社会的信頼性
向上

- ・入札契約制度への適切な対応
- ・社会保険加入の促進
- ・働き方改革への対応
- ・造園を通じた社会貢献活動
- ・防災協定の締結
- ・表彰への推薦

各種
割引制度

- ・団体保険制度による割安な加入
- ・研修会、専門書籍の割引
- ・賛助会員が扱う商品の割引購入

- ・会社の充実
- ・造園業の継続的な発展
- ・みどり創造産業の拡大

地域リーダーズ活動



(一社)日本造園建設業協会
地域リーダーズ 総リーダー 松戸 克浩

地域リーダーズは、全国の造園建設業界の次代を担う経営者や後継者、幹部の会です。

お互いにコミュニケーションを深め、全国各地の様々な情報を共有し、経営能力の向上や知識の習得を図っています。また地域の活性化を目指して、これまでの組織の枠にとらわれず自主的な取り組みを基本とした活動を行っています。

主な活動としては、事業発表や経営などの勉強会、現場見学などを行い、学んだことを各地域で展開しています。また、地域に縛られない全国各地のメンバーから新たな発想や刺激を受けることで、各社の事業充実や業界の活性化に繋げていきます。そして、造園施工業界だけではなく外の組織ともネットワークを構築し、事業領域拡大や新たなビジネスチャンスの創出に向けて取り組んでいます。

地域リーダーズに参加しますと、全国には素晴らしい人材や様々な事業に取り組んでいる会社が多くあることに驚かされます。地域リーダーズは同じ業界内でそういう方々と知り合いになり、フランクに情報交換できる場でもあるのです。

よく「日造協の会員メリットは何？」と質問されることがありますが、私は、業界の最近の情報や適正な知識が得られるとともに、素晴らしい仲間との出会い、その仲間から学ぶことで自分や会社を成長させることができる機会を多く与えてくれることが、最大のメリットであると考えます。そういった仲間が全国にたくさんいることを自分の地域の会員に知ってもらう事も我々地域リーダーズの役割とも考えます。

ぜひ日造協に入会し地域リーダーズに参加し、より魅力ある会社づくりに役立てて頂き、より魅力ある造園建設業界にするよう共に頑張りましょう！



兼六園で伝統技法の研修
(石川)



新たな事業領域・パークゴルフ体験
(北海道)



中尊寺で庭園研究
(岩手)



石切場で石生産の体験
(香川)



毎回多数の仲間が参集



美しい街路樹を考える
(宮城)



首里城の石積技術の研修
(沖縄)



雨水利用の植栽地 グリーンインフラ研究
(福岡)



自動車工場敷地の植栽技術研修
(愛知)



技術・経営・資格など各種講演会

新入会員からのメッセージ



(株)花園グリーンサービス
竹花 裕美子
(埼玉県支部)

埼玉県深谷市(旧花園町)で創業して50周年を記念し、また、和田会長との御縁もあり、入会させて頂きました。

当社は、造園技術と知識を多目的に活用し、「持続可能なビオトープネットワーク」を目指し、幅広く営業活動をしております。

日造協活動の中で発信する情報・知識・技術等を得て、会社経営に活かしていきたいと思えます。

今後も日造協の果たす役割は大変重要です。建設業界での造園業の地位向上と、造園の重要性、必要性をアピールしていただき、造園事業者が安心して造園力を発揮できる持続可能な造園業界になるよう、皆様と共に協力していきたいと思えます。



(株)西野進樹園
西野 暢優
(富山県支部)

我が社は、富山県射水市で造園業を営んでおり、公共施設・民間施設の設計施工、管理業務を行っております。

先代の時より日造協に所属しておりましたが、私が社長に就いてから日造協の良さがよく理解できず一旦退会しました。その後、日造協会員の方々と話をする機会があり、造園に関していろいろと聞かせて頂いた際に、考え方が大きなことに驚きました。現場ごとの仕上りだけでなく、周辺地域全体との調和を考えた都市計画を見据えた大きな発想のお話でした。その影響により日造協に興味を抱き、再入会しました。

今後、協会の活動に積極的に参加し、造園に対して大きな発想ができるよう努力していきたいと思えます。

既存会員からのメッセージ



(株)庭建
田雑裕一
(長崎県支部)

「競争社会から共創社会へ」

社会は大きな転換点を迎えています。持続可能な環境配慮型社会に向けて様々な取り組みがなされ、緑化の重要性は増すばかりです。造園に対する関心が増すにつれ、様々な業種からの参入も活発化しております。

緑化産業の健全化を図るためにも、適切な品質の確保が重要課題であり、新たな波に打ち勝つ力をつけることが、業界を守るために必要なことであると思えます。そのためには、これまでとは違った業界の在り方を考える時がきているように感じます。

過当競争を行うのではなく、個々の技術やアイデアを持ち寄り、我々が主体となって健全で高い品質の造園空間を連携して創造していくことが重要だと考えます。

また、新たな価値創造のためのイノベーションを起こすべく、業界が一丸となった取り組みが求められます。緑に携わる我々が、持続可能な緑社会実現に向けて、体制強化、技術向上、協力体制のネットワーク構築に努めていく必要があります。

そして、そのプラットフォームとなる全国組織の日造協を活用することは、実現に向けた近道であるとも言えます。日造協の輪を広げ、連携を強化していくことが業界全体の向上につながり、強いては、企業一社一社の繁栄にも直結していくことであると確信しております。

入会するには

<p>会員の種別</p>	<p>(1) 正会員：建設業法による許可を受けて造園業を営む個人又は団体 (2) 賛助会員：本会の目的に賛助する個人又は団体 (3) 名誉会員：本会に功労のあった者 又は学識経験者で総会において推薦された者</p>
<p>入会資格</p>	<p>1. 正会員として入会を認める者は、原則として、以下の2項目以上に該当する者とする。 ただし、社会保険等未加入者についてはこの限りでない。 (1) 継続的に造園工事（緑化工事）の完成工事高がある者 (2) 造園に関わる指定管理業務又は委託管理業務を実施している者 (3) 造園に関わる技術的、人的基盤を有している者 (4) 会員2名以上の推薦がある者</p> <p>2. 本会に入会しようとするときは、入会申込書に次の書類を添付し、店社が所在する支部に提出しなければならない。 (1) 建設業法による造園建設業許可書の写し又は建設業許可証明書 (2) 経営規模等評価結果通知書の写し 又は建設業法第11条第2項に基づき 毎事業年度終了時に提出する届出書（表紙）、工事経歴書、工事施工金額を記載した書面の写し (3) 正会員2名以上の推薦状</p>
<p>入会方法</p>	<p>詳しくは日本造園建設業協会本部、又は本店が所在する支部までお問い合わせ下さい。</p>
<p>会費規定</p>	<p>1. 入会金：100,000円・・・ただし、再入会の場合は不要 2. 年会費：完成工事高に応じて定めています。 3. 支部会費：本店が所在する支部へお問合せ下さい。</p> <p>その他ご不明な点については本部事務局（TEL：03-5684-0011）まで、お問い合わせ下さい。</p>

入会をご希望される方は、 下記の支部へお問い合わせ先

総支部	支部	TEL	メールアドレス
北海道	北海道	011(200)7576	s-hokkaido@jalc.or.jp
東北		022(224)3507	s-touhoku@jalc.or.jp
	青森県	0172(88)8332	aomori@jalc.or.jp
	岩手県	019(692)3148	kitahara@koiwai.co.jp
	宮城県	022(224)3507	miyagi@jalc.or.jp
	秋田県	018(824)2737	akita@jalc.or.jp
	山形県	023(641)9280	yamagata@jalc.or.jp
	福島県	024(593)0039	fukushima@jalc.or.jp
関東・甲信		03(3496)2611	s-kantou@jalc.or.jp
	茨城県	029(226)5691	ibaraki@jalc.or.jp
	栃木県	028(612)2246	tochigi@jalc.or.jp
	群馬県	027(290)2244	gunmalc@smile.ocn.ne.jp
	埼玉県	048(864)6921	saitama@jalc.or.jp
	千葉県	043(246)3040	chiba@jalc.or.jp
	東京都	03(3496)2611	tokyo@jalc.or.jp
	神奈川県	045(662)1767	k-01@kanagawazoen.or.jp
	山梨県	055(279)7328	info@zo-en.or.jp
長野県	0263(87)5745	zoennag2@mx2.avis.ne.jp	
北陸		025(282)4460	s-hokuriku@jalc.or.jp
	新潟県	025(282)4460	nigata@jalc.or.jp
	富山県	076(423)1023	toyama@jalc.or.jp
	石川県	076(269)1110	ishikawa@jalc.or.jp
中部		052(832)9111	831chubu5117@jalc.or.jp
	岐阜県	058(273)2811	qqqc5pv9k@dune.ocn.ne.jp
	静岡県	054(271)9348	shizuoka@jalc.or.jp
	愛知県	052(832)9111	aichi@jalc.or.jp
	三重県	059(225)4646	nichizoukyou-mie@lime.ocn.ne.jp
近畿		06(6312)4557	s-kinki@jalc.or.jp
	福井県	0776(25)6860	fukui@jalc.or.jp
	滋賀県	0748(48)4360	shiga@jalc.or.jp
	京都府	075(256)1956	kyoto@jalc.or.jp
	大阪府	06(6312)4557	osaka@jalc.or.jp
	兵庫県	078(942)4761	hyogo28@jalc.or.jp
	奈良県	0743(85)4130	nara@jalc.or.jp
	和歌山県	073(433)3088	wakayama@jalc.or.jp
中国		082(275)5907	s-chugoku@jalc.or.jp
	岡山県	086(276)9765	okakenzo65@a011.broad.jp
	広島県	082(275)5907	hiroshima@jalc.or.jp
	鳥取県	0857(24)5416	torizoukyo@peace.ocn.ne.jp
	島根県	0852(26)6170	shimane@jalc.or.jp
	山口県	083(924)5292	yamaguchi@jalc.or.jp
四国		089(993)6388	s-shikoku@jalc.or.jp
	徳島県	088(653)3260	tokushima@jalc.or.jp
	香川県	087(881)0771	nichizoukagawa@me.pikara.ne.jp
	高知県	088(803)7345	nichizoukochi@basil.ocn.ne.jp
	愛媛県	089(993)6388	ehime@jalc.or.jp
九州		092(632)3347	s-kyusyu@jalc.or.jp
	福岡県	080(4319)3500	fukuoka@jalc.or.jp
	佐賀県	0952(71)8082	saga@jalc.or.jp
	長崎県	095(827)0590	nagasaki@jalc.or.jp
	熊本県	096(282)8602	kumamoto@jalc.or.jp
	大分県	097(574)8484	oita@jalc.or.jp
	宮崎県	0985(31)7241	miyazaki@jalc.or.jp
鹿児島県	099(251)0180	kagoshima@jalc.or.jp	
沖縄	沖縄県	098(946)0843	okizokyo@okiryoku.org